

科目名		電気工事実習 II				
担当教員		藤田 力夫、清野 貴久		実務授業の有無	○	
対象学科		電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	144時間
授業概要、目的、授業の進め方		一般用電気工作物のケーブル配線工事、金属管工事、合成樹脂管工事を組み合わせた実習課題を時間内に作成する。指示書から設計、施工計画、配線図、材料準備、施工、検査、を行う。				
学習目標 (到達目標)		電気工事士技能試験を合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		電気工事実技教科書 (独)雇用・能力開発機構、配布プリント等				
NO.			学習方法・準備学習・備考			
1	ケーブル配線工事		配線図の課題を納期に間に合うように施工する。			
2	金属管工事		金属管の切断、曲げ加工、接続を行う。			
3	合成樹脂管工事		合成樹脂管の切断、曲げ加工、接続を行う。			
4	モーターシーケンス回路		自己保持回路、インターロック回路の作成。			
5	制御回路		センサーを使った回路の作成。			
6	引込線工事		引込線布設と分電盤取り付け			
7	計器取り付け		電力計の取り付け			
8	昇柱実習		電柱の昇り降り。安全管理。			
9	特別教育		低圧電気取扱い。高所作業車。フルハーネス作業。			
10	電気工事士技能試験		電工1種技能試験公表問題を練習。			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
平常点	課題	期末試験				
5 %	15 %	80 %	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作業着、工具、安全靴、帽子など安全管理をしっかりとしましょう。			
実務経験教員の経歴		電気技術者として4年の実務 第1種電気工事士				